

# 国際英語学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（国際英語）】

学部の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）	学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）
現代のグローバル社会における社会的・文化的諸課題を理解し、実践的な外国語運用能力と高いコミュニケーション能力によってさまざまな領域で中核的・支援的な役割を果たすことのできる人材を育成する。	世界で仕事をし、貢献する視野とそれを支える知識と能力（世界と自らの文化に対する理解、批判的思考力、論理的表現力）、英語による国際的なコミュニケーションスキル、活動経験を有し、行動的で個としての強さをもった人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
DP1 知識・理解	(1)	World Englishesとしての英語の現状と歴史的背景、現代英語の言語的特徴、外国語習得の理論について体系的に理解している。	1. 学生の自律的な学習と批判的リテラシーを養うため、「e-pro」「World English Culture」「Professional and Career」の3つの科目群を設定する。  2. e-pro科目群をとおして、読む、書く、聞く、やりとり、発表の各領域について1、2年時を中心に集中的な授業設定を行う。また「アドバンストコース」のグループと「英語基礎」のグループのための授業科目群を設定し、学生の英語力に応じた学びの機会を提供する。	国際英語学科では次のような資質を持った多様なタイプの学生を求めます。  <b>1. 関心・意欲・態度</b> 英語及び、英語圏の文化や社会に強い関心を持っており、英語圏への留学によって英語の力をつけることに意欲のある人。また、英語教育や国際ビジネス・ホスピタリティの領域で、卒業後に英語力を活かすことに意欲のある人  <b>2. 知識・教養／知識・技能</b> 小・中・高校での英語学習をふまえ、少なくともCEFR A2レベルの英語運用能力を持っている人  <b>3. 思考力・判断力・表現力</b> 高等学校までに履修した主要教科の知識をふまえ、批判的思考力や論理的表現力の土台を持っている人  <b>4. 協働性・主体性</b> 英語習得をはじめとする学習に対して主体的に取り組むことができるとともに、多様な人々と協働して学ぶ態度を持っている人
	(2)	英語圏の地域文化・歴史と地域社会および国際社会の諸問題、外国語教育の分野について、専門的な視点から理解している。		
DP2 汎用的技能	(1)	国際基準に照らして中級レベル以上の英語運用能力と、自律的な外国語学習能力を身につけている。	3. World English Culture科目群では、World Englishesの視点から現代の英語および、広義の英語圏の文化や社会に関する専門的科目を体系的に提供する。また、1年次、3年次、4年次にゼミナール形式の授業を設定し、調査・分析・発表の活動をとおして批判的リテラシーを養う。  4. Professional and Career科目群では、外国語としての英語教育、国際ビジネス、国際ホスピタリティ分野でのプログラムを設定し、知識を実践と結びつける機会を提供する。	
	(2)	異なる言語や文化的背景を持つ相手と積極的に関わり協働することのできる対人コミュニケーション力と発信力を身につけている。		
	(3)	グローバル化が進む社会において、世界の諸問題についてメディアの情報を主体的・批判的に読み解き活用することができる。		
DP3 態度・志向性	(1)	異なる言語や文化を背景にした価値観を受容・尊重し、多様な背景を持つ人と協働することのできる態度・志向を身につけている。		
	(2)	英語学習や専門分野の学びを通して、困難な状況に柔軟に対応し、自律的に課題解決をすることのできる態度・志向を身につけている。		
DP4 統合的な学習経験と創造的思考力	(1)	留学、在外研修、インターンシップ、ボランティア活動などを通して、自らの経験を言語化し、知識と経験を統合して課題発見や分析を行い、その過程や成果を他者と共有することができる。		
	(2)	外国語教育、国際ビジネス、国際ホスピタリティ分野での学習やセミナー形式の授業を通して、知識と実践を結びつけて課題発見や課題解決にあたることのできる。		